

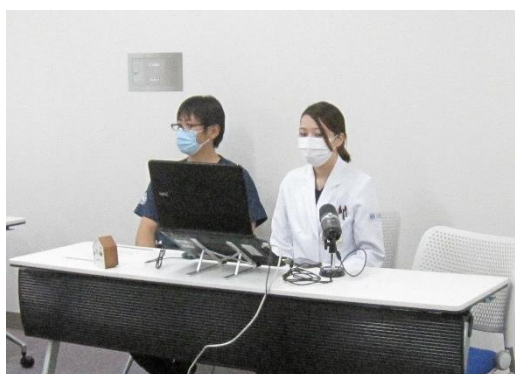
## 岡山大学病院 周術期管理センター 公開セミナー

日 時：2021年12月19日（日）13：00～16：00

開催形式：Zoom

テーマ：周術期における精神症状への対応

講義 1	「岡山大学病院でのせん妄予防対策システムの実際」 岡山大学病院 精神科リエゾンチーム 臨床心理士 井上尚子先生
講義 2	「術後せん妄について」 岡山大学病院 精神科リエゾンチーム 医師 三宅俊明先生
講義 3	「術前における薬剤確認のポイント」 岡山大学病院 周術期管理センター 薬剤師 猪田宏美先生
講義 4	「周術期と発達障害 対応に困るケースに活かせる実践的知識」 岡山大学病院 精神科リエゾンチーム 医師 井上真一郎先生
講義 5	「周術期と認知症 認知症の基本と周術期における認知症ケアの実際」 岡山大学病院 精神科リエゾンチーム 医師 松井友紀子先生 精神科リエゾンチーム 認知症看護認定看護師 山本昌子先生
講義 6	「周術期と精神疾患 ～統合失調症・うつ病・アルコール使用障害～」 岡山大学病院 精神科リエゾンチーム 医師 枝廣 暁先生



岡山大学病院 周術期管理センター 公開セミナー「周術期における精神症状への対応」を開催いたしました。参加者は81名でした。

第一部として、講義1～4が行なわれました。講義1では、せん妄のリスク評価（準備因子）、入院時におけるせん妄リスクの低減、せん妄の早期発見、せん妄の原因除去と対応について述べられました。講義2では、せん妄の診断基準や主な症状、せん妄対策の流れについて述べられました。講義3では、岡山大学病院周術期管理センターの概要、周術期管理センター外来の流れ、薬剤師面談での確認事項や周術期において中止あるいは注意が必要な薬剤について述べられました。講義4では、発達障害についての概要、岡山大学病院での発達障害患者に対する対応の工夫やマニュアルについて述べられました。質疑応答をはさんで、第二部として、講義5、6が行なわれました。講義5では、岡山大学病院精神科リエゾンチーム 松井友紀子先生より、認知症の診断基準、アルツハイマー型認知症の症状が現れる順番の説明、せん妄と認知症の鑑別について、認知症の薬物療法、認知症の非薬物療法について述べられました。続いて、山本昌子先生より、せん妄、認知症、うつ病の関係について、精神症状のアセスメントのプロセス、せん妄と認知症の比較、環境が認知症の人に及ぼす影

響、認知症の人の生活・療養環境づくりについて述べられました。最後に、講義6として、岡山大学病院精神科リエゾンチーム枝廣 暁先生より、精神疾患の説明、周術期への影響、治療薬、岡山大学病院での取り組みについて述べられました。

研修終了後のアンケートでは、「せん妄とその原因や薬剤については情報も多い中、発達障害や精神障害についての講義は興味深かった。システム全体も参考にさせていただきます。」「標準と個別性のバランス良く、患者さんに親切で気持ちの良いケアができるように取り組みたいです。」との意見をいただきました。81名の方にご視聴いただきました。

#### <参加者内訳>

